

コース名：遠隔教育のためのトレーニング

(立田ルミ)

対 象：遠隔教育に興味のある一般の教員

目 標：遠隔教育に必要な装置とビデオ作成

研修時間：2日間

研修内容：

研修方法：

導入

- ・ 遠隔教育の概要
- ・ 遠隔教育で必要なこと

講義

利用形態

- ・ シナリオ作成
- ・ 装置の準備
- ・ テレビカメラを操作してみる
- ・ テレビカメラで数分の授業を行う
- ・ ビデオを見て、授業の悪い点、よい点を討議する
- ・ シナリオ修正
- ・ テレビカメラで再度授業を行う

ワークショップ

利用計画の立案

- ・ 遠隔授業の計画
- ・ シナリオの作成
- ・ テレビカメラで授業を行う
- ・ 視聴者の意見

研修評価の観点：

- ・ 遠隔教育をどのように進めてゆくか
- ・ どのように授業を進めてゆけばよいか
- ・ 視聴者がどのように評価するか

ラショナル：

アメリカの大学では最近遠隔授業を行っているところが増えてきている。日本でも文部省が1998年3月に大学設置基準を改定して、高等機関におけるマルチメディアを活用した遠隔授業の単位認定を可能にする制度整備を行っている。これにより、テレビカメラに向かって授業を行う必要性も増えてくるものと思われる。そこで、テレビカメラに向かって授業を行い、視聴者とのディスカッションを行うことにより、よりよい遠隔授業が行えることを目的としてこのワークショップ開催する。

備 考：

この研修は、機器の関係からメディア教育開発センターで行う。